

今月の星空 2013 年 3 月

【弥生 3 月】 弥生と言う語にはいよいよ、草木が生い茂ると言う意味が含まれています。まさに、これからの季節は徐々に気温が上り草木が息吹始めます、気温が上がって来れば、夜、星を観る時間も段々と楽になってきますね。

さて、今月の星空ですが、まず見落とせないのが明るくなると予想されているパンスターズ彗星、3月10日に最も太陽に近づきその後3月中旬以降、日の入り直後西の空低い所に見ることが出来そうです(夕方)。ただし、日没後の高さが低いので西の空が開けている所で見てください。肉眼又は双眼鏡で探すと尾を引いた彗星の姿が見られそうです。(片手を伸ばし拳の底を地平線に合わせると上辺あたりの角度に見えることでしょう。)

時間が経ち暗くなると、まず目立つのが冬空を代表する星ぼし、おおいて座のシリウス、オリオン座のベテルギウス、こいぬ座のプロキオン、それらを線で結ぶと有名な冬の大三角。目立って明るい星が多い冬の星座が南の空から西の空へ、中旬以降は目だった星の少ない春の星座へ徐々に移っていきます。(ちなみにオリオン座のベテルギウス星は今日にでも超新星爆発が起こってもおかしくない星だそうです、爆発が起こると暫くの間今の太陽と同じ位の明るさに見えるみたいです。)

一般的に大きな超新星爆発が発生した場合、周辺数百光年以内にある惑星の生命は全滅すると言われていますが、ベテルギウスと地球は **630** 光年の距離ですので、それ程大きな影響は無いと思われます。

太陽とベテルギウス等他星の大きさ比較図。(わが太陽は小さすぎて見えません)

